



真冬に芽を出して花が開花し、そのあと葉を茂らせ、晩春に地上部は枯れて秋まで休眠します。地上に顔を出しているのは1年のうちで3か月ほど。その可憐さとはかなさがセツブンソウの大きな魅力です。

寒空にけなげに咲いているセツブンソウの花を見つけると思わず顔がほころんでしまいます。そのような可愛らしい花姿から「微笑み」という花言葉が生まれました。

また、「光輝」という花言葉は、セツブンソウの黄色い蜜腺がまるで黄色い冠のように見えることから付けられたと言われています。